

**企業調査レポート**  
**(決算速報)**

安藤証券株式会社  
調査部：土田 陽一  
平成 24 年 1 月 31 日

**東邦ガス ( 9 5 3 3 )**

**業績推移** ( 連結ベース、単位は E P S、配当が円、他は百万円、予は会社側予想 )

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	E P S	配当
10/3	411,524 -13.3%	17,819 +63.6%	17,351 +52.6%	10,976 +89.0%	19.68	8.00
11/3	436,825 +6.1%	23,906 +34.2%	24,334 +40.2%	14,491 +32.0%	26.22	8.00
12/3 予	475,000 +8.7%	18,000 -24.7%	18,000 -26.0%	10,000 -31.0%	18.32	8.00

**主要株価指標** ( 株価、配当利回りのカッコ内は日付 )

株 価	連結 P E R	連結 P B R	配当利回り
489 円 (1/30)	26.7 倍 (12/3 期予)	1.3 倍 (11/12 期)	1.6% (1/31)

**業績動向**

2011年4 - 12月期の連結業績は、大震災による生産活動の停滞や省エネ意識の高まりなどから都市ガス販売量が前年同期比1.1%減、LPG販売量が同1.4%減となった一方、原料費調整制度に基づく価格改定により売上高は同7.3%増と増収を確保した。利益面では、原材料価格の目安となる円相場が前年同期比1ドル=7.8円の円高となった一方、原油価格が同1バレル=33.4ドルの上昇となったため、営業利益、経常利益は8割超の減益に、最終損益は法人税率の引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩しなどにより、5億円の赤字となった(営業利益が前年同期比83.7%減、経常利益が同81.2%減、最終損益が5億円)。

会社側は2012年3月期通期の業績予想を修正、売上高は従来の会社側予想を50億円下回る見通しである一方、営業利益、経常利益は同50億円、当期利益は同20億円上回る見通しである。ガス販売量の見通しに変更はないものの、1 - 3月期の円相場的前提を1ドル=85円から1ドル=80円に見直すことにより、原料費調整制度に基づく価格改定分が減少するなどの影響が見込まれるため、売上高は従来予想を下回る見通しである。一方、円相場の見直しでは原材料価格の低下が見込まれるほか、諸費用の来期への繰延などにより、営業利益、経常利益、当期利益は従来予想を上回る見通しである。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、銘柄の選定、投資判断の最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は、信頼出来ると考えられる情報に基づいて作成されていますが、安藤証券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、今後、予告なく変更される事があります。事前の了承なく複製または転送等行わないようお願いいたします。